



Ver.1.0



Copyright ©2007-2008 DogMarkSystem

はじめに

Shake Call をご利用いただきありがとうございます。

本ソフトウェアは各種メディアファイルを特定のフォルダに対してコピーすることを目的としています。想定している使用状況は以下の通りです。

- シャッフル機能を持たずデータ書き込み順にしか再生できないメディアプレイヤーを使用する場合、あらかじめシャッフルした状態でデータを書き込みます。
- メディアプレイヤーの容量に対してメディアファイルが多い場合、コピーするファイルをランダムに抽出します。
- 複数フォルダに分類されたメディアファイルを一箇所に集めます。

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）は、お客様が DogMarkSystem から入手されるソフトウェアやマニュアルなどの情報（以下「本件ソフトウェア」といいます。）に関し、DogMarkSystem と、本件ソフトウェアの全部又は一部をハードディスク等の記憶装置へ保存し、又は本件ソフトウェアに含まれるプログラムをコンピュータ上で実行するお客様との間で締結される契約です。

- (1) お客様は、本件ソフトウェアの全部又は一部をコンピュータのハードディスク等の記憶装置へ保存したとき、又は本件ソフトウェアを使用したときは、本契約の締結に同意したものとみなされます。このお客様の同意をもって、本契約は成立し、効力を生じます。
- (2) お客様は、自己が保存した本件ソフトウェアの全てを削除することにより、本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、理由のいかんを問わず、本契約の終了について DogMarkSystem に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとします。
- (4) 本件ソフトウェアは計算機能及び出力機能を有するものであり、操作に必要とされるデータは含みません。

DogMarkSystem は、お客様に対し、本件ソフトウェアを本契約に基づく条件及び DogMarkSystem が定める各本件ソフトウェアの使用目的の範囲内で、非独占的に無償で使用する事ができる譲渡不能な権利を許諾します。

- (1) お客様は、本契約において明示的に認められた場合を除き本件ソフトウェアを複製することはできません。
- (2) お客様は、本件ソフトウェアを第三者に配布、レンタル、リース、貸与及び譲渡することはできません。
- (3) お客様は、本件ソフトウェアに含まれるプログラムに対して、修正を加えること、翻訳、翻案を行うこと、及び逆コンパイル、逆アセンブル等のリバースエンジニアリングを行うことはできません。

本件ソフトウェアの著作権は、全て DogMarkSystem に帰属します。

- (1) DogMarkSystem は、お客様、その他の第三者が本件ソフトウェアに関連して直接間接に蒙ったいかなる損害に対しても、賠償等の一切の責任を負わず、かつ、お客様はこれに対して DogMarkSystem を免責するものとします。
- (2) DogMarkSystem はお客様に対し、本件ソフトウェアの動作保証、使用目的への適合性の保証、商業性の保証、使用結果についての的確性や信頼性の保証、第三者の権利侵害及び瑕疵担保義務も含め、いかなる責任も一切負いません。DogMarkSystem がこれらの可能性について事前に知らされていた場合も同様です。
- (3) DogMarkSystem は独自の判断に基づき、本件ソフトウェアの仕様又は内容の変更、修正、配布方法等の変更及び対価の設定をすることができます。
- (4) DogMarkSystem からお客様に提供される本件ソフトウェアにかかる情報についても、直接間接を問わず、本条各項の規定が適用されます。

目次

主な特徴	6
動作環境	7
正規版と試用版の違い	8
拡張子定義	9
コピー設定	12
ファイルのコピー	13
Undo/Redo	15
多言語対応	16
DogMarkNews	17

主な特徴

Shake Call の主な特徴を以下に記載します。

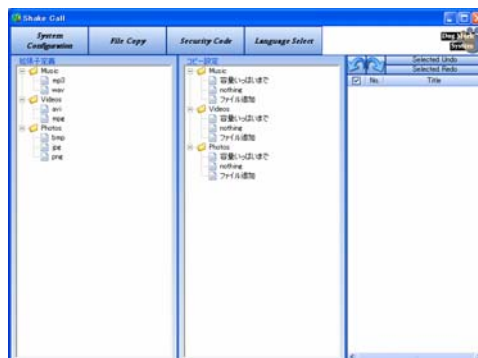
- ・ ファイルを管理するカテゴリ、拡張子を追加削除可能です。
- ・ 拡張された **TreeView** によるユーザーの趣旨に則ったデータ管理がかのうです。
- ・ カテゴリ別にコピー条件を設定可能です。
- ・ コピー元として、複数のフォルダ、下層フォルダを選択可能です。
- ・ 言語ファイルを修正することで多言語にて使用可能（標準は日本語、英語）です。
- ・ 任意の段階のみ復元できる強力な **Undo/Redo** を搭載しています。
- ・ 不慮のシステムダウン時、**Undo/Redo** 記録を元に直前まで復元できる保護機能を搭載しています。

動作環境

OS	Windows Vista 、Windows XP、Windows 2000
対応機種 (パソコン本体)	上記 OS が動作する環境 (Pentium III 1GHz 以上を推奨)
メモリ	256MB 以上 (512MB 以上を推奨)
ディスプレイ	上記動作 OS に対応したディスプレイ 解像度:800 × 600 以上 (解像度:1024 × 768 以上を推奨)
光学ドライブ	特になし
ハードディスク	Microsoft .NET Framework 1.1 40MB Shake Call 10MB
マウス及びキーボード	上記日本語 OS で使用可能なマウス
日本語入力システム	上記日本語 OS に対応した日本語入力システム

Web 環境について

Web 環境が確認された場合は、Dog Mark System よりの連絡事項が表示されます。
また連絡事項を表示しないようにすることもできます。

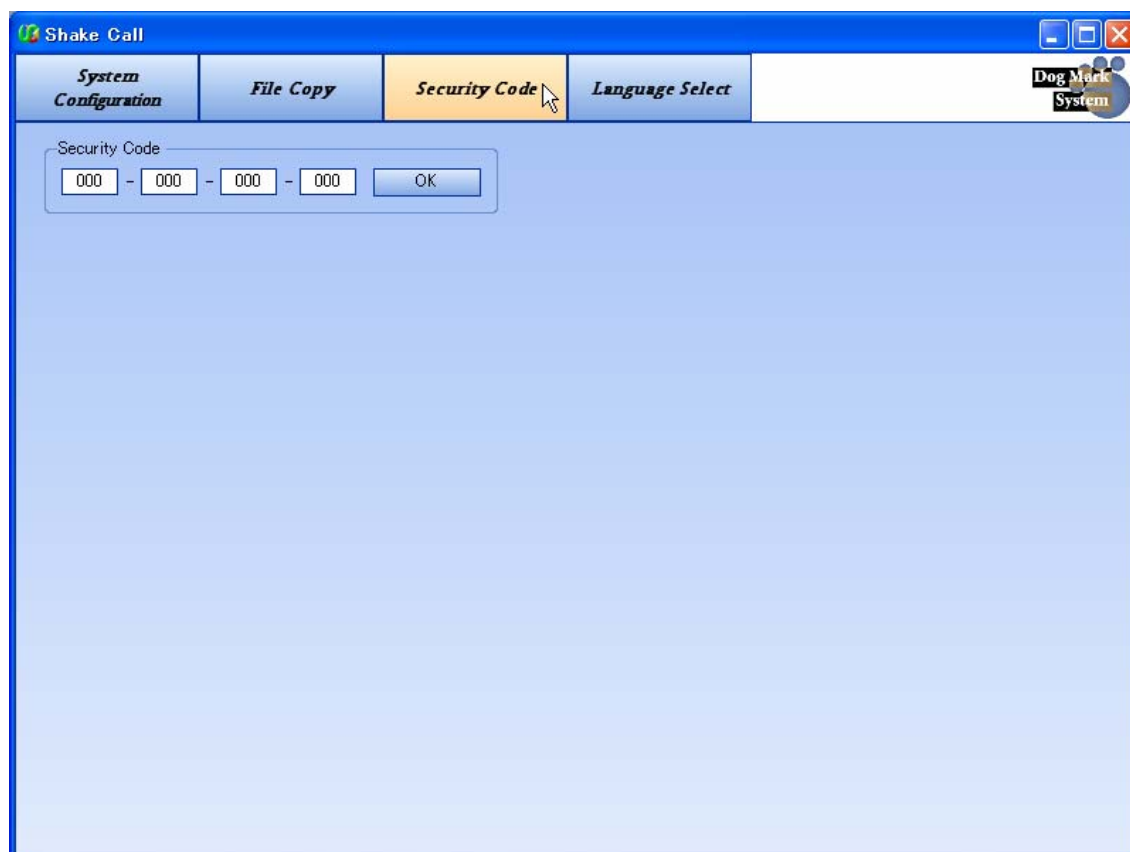


正規版と試用版の違い

正規版と試用版の違いは下記の通りです。

- ・ 試用版は前回起動時の設定内容を読み込むことができません。
- ・ 認証コードを入手することで正規版になり設定内容を読み込めるようになります。
- ・ 設定内容が同じであれば、正規版と試用版は同じ動作をします。
- ・ 使用回数、期間制限などはありません。

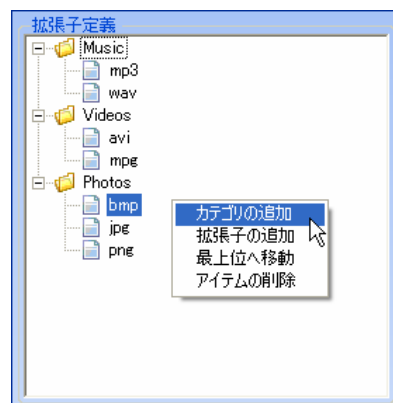
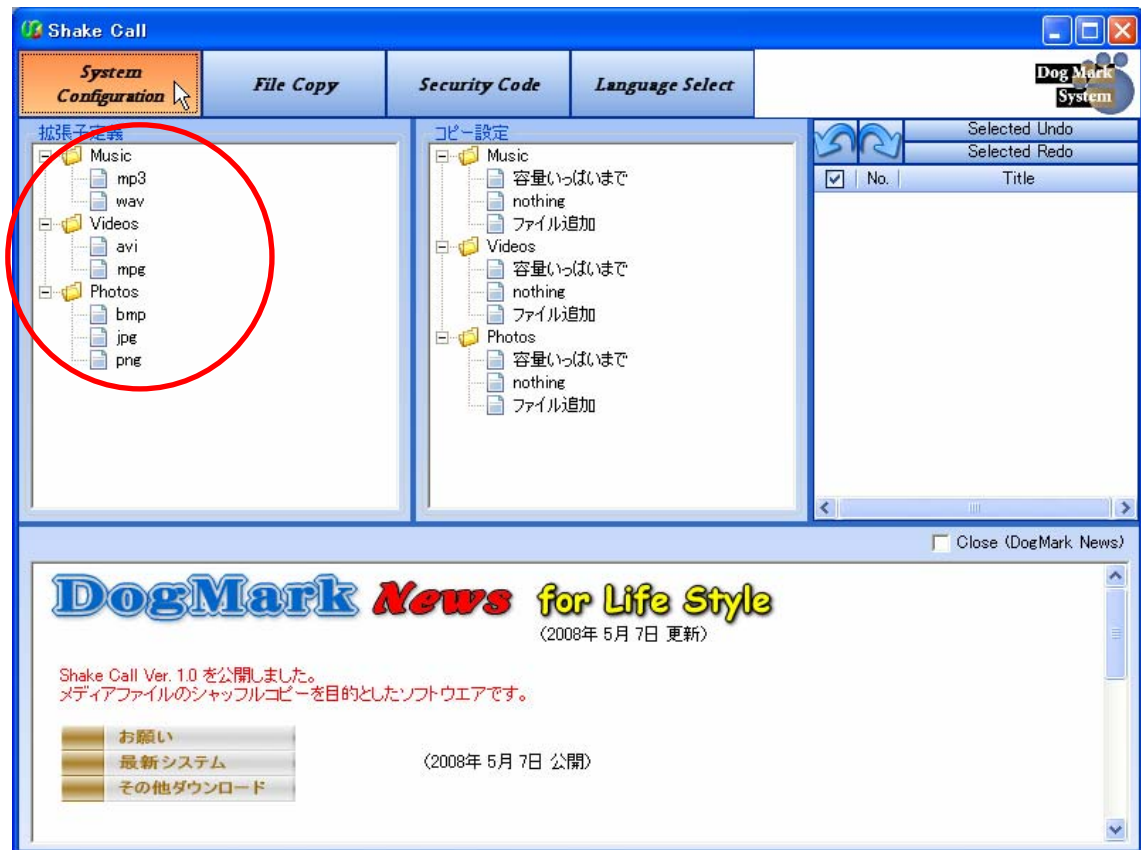
つまり、「毎回設定を行うのであれば試用版で構わない」ということになります。



認証コード入力画面

拡張子定義

コピー元の拡張子を定義します。拡張子の設定は自由です。



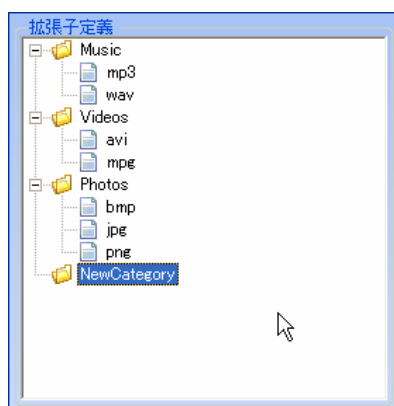
拡張子定義 TreeView は

- ・ カテゴリの追加と削除
- ・ 拡張子の追加と削除
- ・ カテゴリ及び拡張子の移動

の 3 点について編集します。

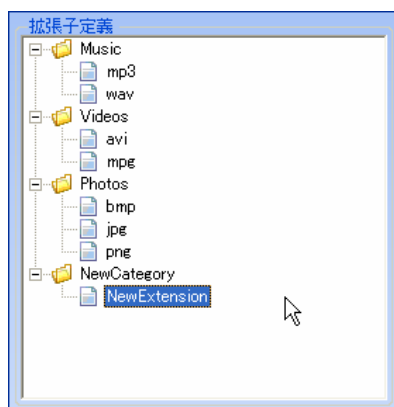
編集方法はマウスの右クリックからポップアップメニューが現れるほかマウスのドラッグ・アンド・ドロップにより行います。

① カテゴリの追加



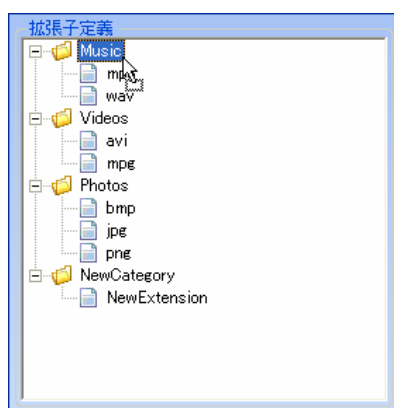
ポップアップメニューの「カテゴリの追加」をクリックすると「NewCategory」というタイトルの連番フォルダが作成されます。選択されたカテゴリをクリックすると名称を変更できます。

② 拡張子の追加



ポップアップメニューの「拡張子の追加」をクリックすると「NewExtension」というタイトルの連番拡張子が作成されます。選択された拡張子をクリックすると名称を変更できます。

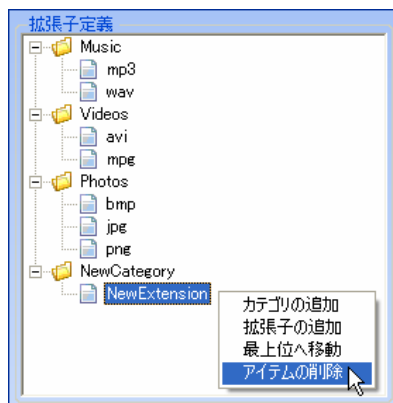
③ カテゴリ、拡張子の移動



移動させたいカテゴリ、拡張子をマウスのドラッグ・アンド・ドロップにより自由に移動できます。ただし、自由に移動させられるのは何らかのカテゴリの下のみです。拡張子の下には移動できません。

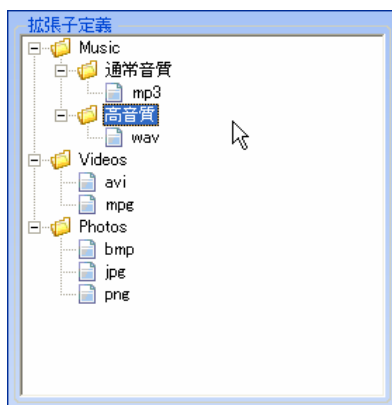
またカテゴリのみ何れのカテゴリにも属さないようにできます。その際はポップアップメニューの「最上位へ移動」をクリックしてください。

④ アイテムの削除



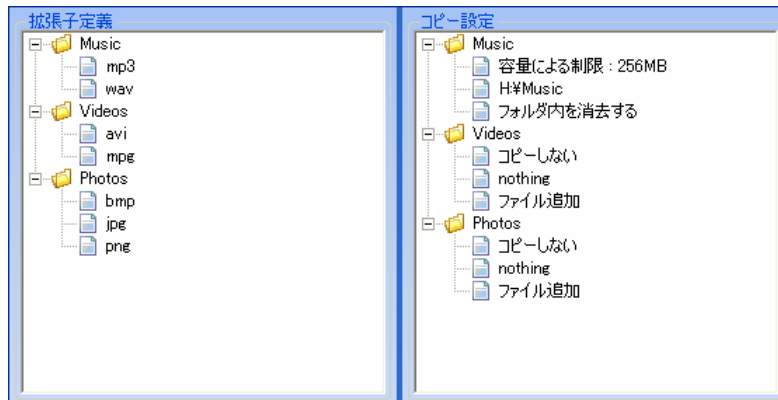
不要になったカテゴリ、拡張子はポップアップメニューの「アイテムの削除」により削除できます。

※なお同じカテゴリであっても下記のように条件によって分けることができます。



コピー設定

コピー設定のフォルダ構造は拡張子定義と同じ形になっています。違いは拡張子定義には拡張子が表示されているのに対し、コピー設定には各カテゴリごとのコピー設定が表示されています。



コピー設定の変更はコピー設定 **TreeView** 上にて編集したいカテゴリをダブルクリックすることで「CopySetting」ウインドウが開きます。



コピー設定は以下の3項目を登録します。

- ① 「コピー形式」はコピーされるファイルの量を制限します。

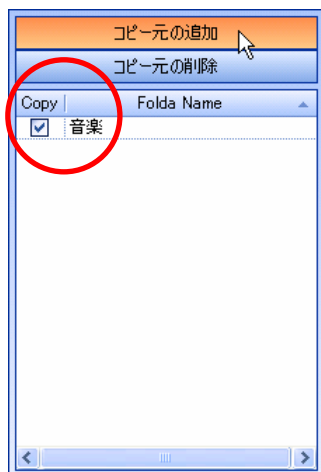
「容量いっぱいまで」	コピーできる最大量までコピーします
「容量による制限」	指定された容量分のファイルをコピーします
「ファイル数による制限」	指定されたファイルの数だけコピーします
「コピーしない」	コピーしません
- ② コピー先
コピー先フォルダを指定します。
- ③ コピー先制御

「フォルダ内を消去する」	コピー先フォルダを消去した後コピーします
「ファイル追加」	コピー先にファイルを追加します

ファイルのコピー

ファイルのコピーは次の 3 つの手順により行います。

① コピー元の追加



コピー元ファイルが存在するフォルダを指定します。

「コピー元の追加」によりフォルダを追加します。

行を選択して「コピー元の削除」をクリックするか「Delete」キーを押すとフォルダを削除することができます。

また「Copy」フラグのチェックを外すことでコピー元として登録したままコピー元の対象からはずすことができます。

② ファイル検索



コピー元フォルダ内のファイルを検索し、カテゴリに登録されているファイルのみ抽出します。

「ファイル検索」をクリックすると「All Category」もしくは登録されたカテゴリ毎に検索し、リストを作成しなおします。その際該当するカテゴリのリストは消去されます。「下層フォルダの検索」にチェックを入れるとコピー元フォルダの下位のフォルダも検索対象となります。

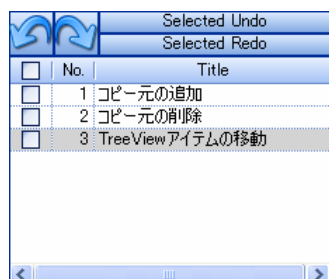
「リスト消去」をクリックすると「All Category」もしくは登録されたカテゴリ毎にリストを消去します。

③ コピー

「Shake Call」をクリックするとファイルをランダムにコピーします。「Copy」フラグのチェックを外すことでリストに登録したままコピー対象からはずすことができます。

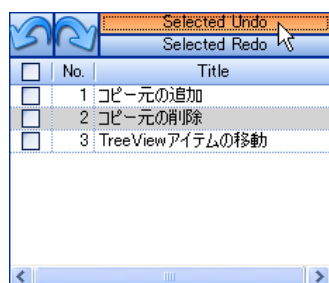
Undo/Redo

単純な Undo/Redo ならびに特定の箇所のみ Undo/Redo がかけられます。



「白」表記の行は行われた作業の記録が表示されています。
「灰」表記の行は Undo が行われた処理であることを表しています。Redo が行われた場合は「白」表記に戻ります

そのほかこの Undo には次のような特徴があります



- ・ 順番に Undo を行わなくても特定の作業のみ Undo を行うこともできます。例えば「3.TreeView アイテムの移動」を行った後に「2.コピー元の削除」に Undo を行うことができます。
- ・ またシステムダウンしても Undo 記録をもとにして設定内容を自動復元します。

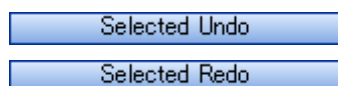
※ 設定内容の自動復元はすべての条件を保障するものではありません。復元を行うためには元となる設定ファイルならびに Undo 記録が正常に保存されている必要があります。これらが破損した場合設定内容の復元はできません。



ひとつ前の作業に対して Undo を行います。



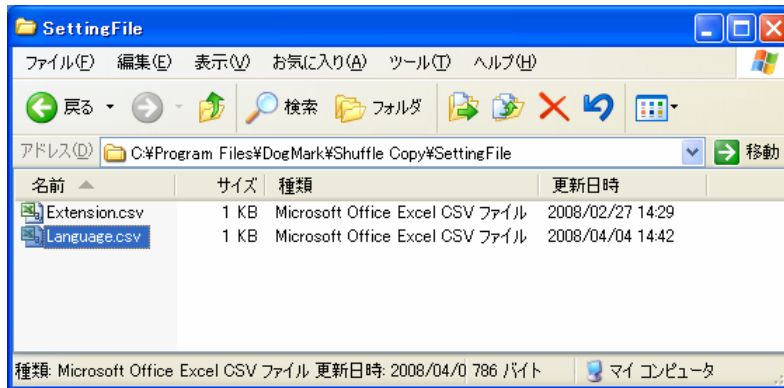
最後に Undo された作業に対して Redo を行います。



チェックされた Undo 記録に対して Undo を行います。
チェックされた Redo 記録に対して Redo を行います。

多言語対応

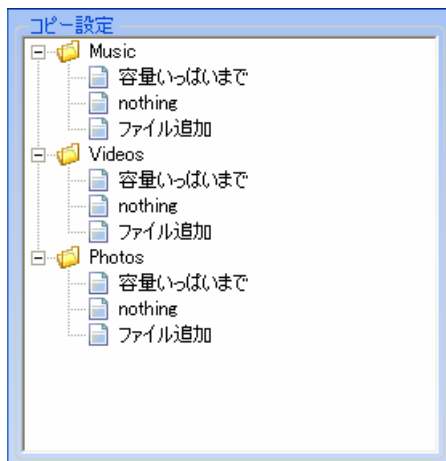
Shake Call は多言語にカスタマイズ可能です。言語設定のファイルはインストールされたフォルダの下に「SettingFile¥ Language.csv」というファイルがあります。



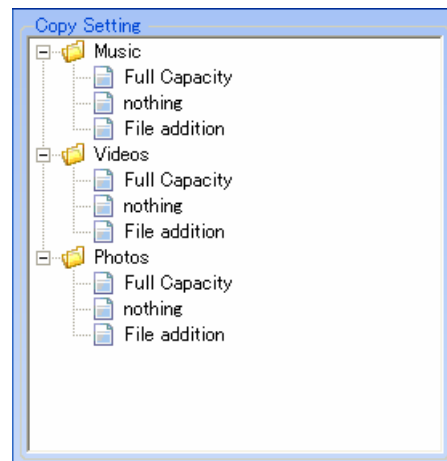
内部は CSV 形式で記載しており、Excel などにより編集できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Japanese	拡張子定義	コピー設定	コピー形式	コピーしない	容量いっぱいまで	容量による制限	ファイル数による制限
2	English	Extension definition	Copy Setting	Copy Type	No Copy	Full Capacity	Control capacity	Control files
3								

先頭列が言語名、そのほかはフォーム上に表示される文字列となります。標準の言語ファイルを参考にして単純に行を追加すれば新たな言語に対応できます。



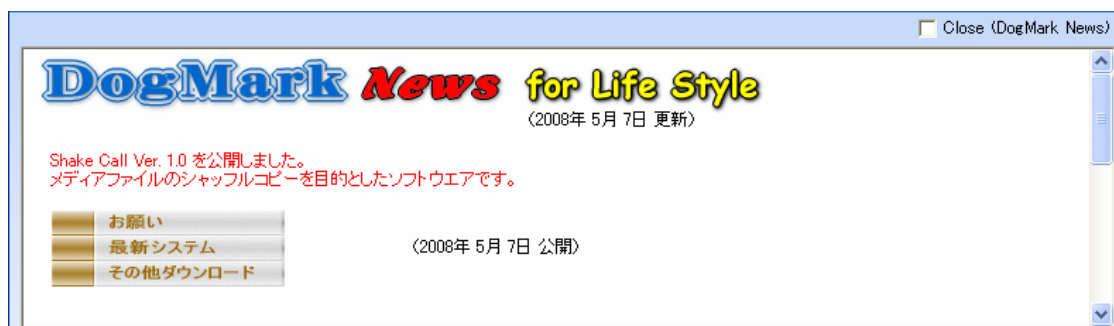
日本語表記



英語表記

DogMarkNews

DogMarkSystem からの連絡事項を DogMarkNews として表示します。



ソフトウェアのバージョンアップ、新作ソフトの紹介などが表示されます。

Close (DogMark News) にチェックを入れる则表示されなくなります。